

- 1 題材名 はくのまとまりをかんじとろう（6時間）  
 教材名 表現（歌唱） 「はしの上で」「たぬきのたいこ」  
 表現（器楽） リズムあそび  
 鑑賞 「ミッキーマウスマーチ」「メヌエット」

2 題材について

《学習指導要領との関わり》

- A表現（1）歌唱 ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。  
 イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと。  
 ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ウ)の技能を身に付けること。  
 (ウ)互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能
- (2) 器楽 ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと。  
 イ 次の(ア)について気付くこと。  
 (ア)曲想と音楽の構造との関わり  
 ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ウ)の技能を身に付けること。  
 (ウ)互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能。
- B鑑賞 ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴くこと。  
 イ 曲想と音楽の構造との関わりについて気付くこと。
- [共通事項]（1）ア リズム・旋律・拍  
 ・思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：リズム・旋律・拍  
 ・取り扱う音符、休符、記号や用語：2拍子、3拍子

(1) 題材観

本題材では、2拍子、3拍子の拍のまとまりの特徴やリズム、旋律などと曲想との関わりに気付き、表現したり曲全体を味わって聴いたりすることをねらいとしている。1年生で身に付けた拍に対する感覚を基に、一定の拍のまとまりが周期的に繰り返される拍子について学習する。2拍子と3拍子の違いを感じ取りやすい表現と鑑賞曲を教材として、表現領域では歌ったり、拍打ちや手遊びをしたりする。そして最後に体を動かして鑑賞を楽しむ。その中で音楽に流れる拍とそのまとまりを自然に感じ取らせ、2拍子と3拍子の違いや特徴をつかむことができるように学習を進めていく。

(2) 指導観

＜教材について＞

第一次では、2拍子や3拍子の拍打ちリレーをする。そして、2拍子、3拍子の拍のまとまりをそれぞれ感じ取りやすい「はしの上で」と「たぬきのたいこ」を歌ったり、拍にあった手遊びを考えたりする。

第二次では、「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を鑑賞する。「ミッキーマウスマーチ」は2拍子の行進曲、「メヌエット」は3拍子のおどりの曲である。これらの曲は、拍子と体の動きが密接に結びついており、拍のまとまりと曲想との関わりに気付きやすい。また2曲を比べて聴くことで拍子の違いを実感しやすいと考える。そして体を動かす活動を取り入れ、無意識に聴き取っていたことを表出したり、音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに気付いたりできるようにする。その際「体をこう動かしたのは、音楽がこうだから」と、学びとして他者とも共有できるように言葉にする時間も大切にしていく。最後は「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」のどちらがよりお気に入りかを選び、自分なりに曲や演奏のよさ、面白さを見いだせるようにする。

## <研究の視点との関わり>

### 【視点1】〔共通事項〕を支えにした、9年間の学びの連続性を考えた授業づくり

#### ①学び方の共有

○〔共通事項〕を切り口とした聴き比べをする。

本題材では、拍のまとまりの違いを感じ取らせるために「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を聴き比べる。拍子の違う音楽を聴き比べることによって、同じ拍の取り方では強拍と弱拍が曲と合わないことに気付き、児童自身が違いを感じ取ることができる。鑑賞の際に〔共通事項〕の違いを聴き取りやすい曲を聴き比べる経験を重ねることで、児童自身が聴く視点に自然と気付くようになるだろう。

#### ②既習を生かして学びを深める授業づくり

○「感じ取ったこと」と「聴き取ったこと」の関わりに気付く力を身に付けさせる。

鑑賞の学習は、音楽の聴き方を学ぶことも一つである。その手掛かりとなるのが〔共通事項〕であり、「聴き取ったこと」になる。音楽から「聴き取ったこと」と自分自身が「感じ取ったこと」を関わらせることで鑑賞の学習は深まっていく。自身の言葉で思い付かない児童には「お助けカード」から自分が聴き取ったり感じ取ったりしたことに近い言葉を選択させる。小学校低学年の段階では音楽を表現する語彙がまだ少ないので、語彙を教えることも必要だと考える。「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」を線で繋いだり、合わせて言葉にしていったりすることに慣れさせて、学年が進むにつれ音楽を表現する語彙が増えるようにしていく。そして、中学生になった時に自ら感じ取った根拠が示せるようにしていきたい。

### 【視点2】主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

#### ①音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導の手立て

○体を動かす活動

低学年の児童は、言葉よりも先に無意識に感じ取って体を動かすことが多い。体を動かす活動は、児童が「音楽との一体感」を味わうのに有効である。拍のまとまりに気付いた動きをしている児童がいたら、その動きを取り上げて全員で共有していく。その時にただ体を動かすことだけで終わらないよう「曲のどこの部分でそう思ったの」「どうしてそう思ったの」などと教師が問いかけ、無意識の部分を意識化させていく。また、他の児童の動きを共有することで、友達と一緒に音楽と一体となる楽しさも味わえるようにする。

### 【視点3】評価の在り方

○固定の動画撮影

本題材では、拍打ち、手遊びなども含めた体を動かす活動を多く取り入れる。一人一人の児童の動きを見取りたいが、見取り切れない場面もあると考える。そこで、毎時間固定してタブレットで動画を撮影する。その映像は、児童と一緒に観て〔共通事項〕に気付かせたり、曲全体を味わっている児童の姿を共有したり、自分の姿を客観的に観て振り返る手立てとする。また、教師自身が授業内で見取り切れなかった児童の実態をつかみ、次の時間に重点的に声掛けをしたり、動きを称賛したりすることに繋げる。

○思考ツールの活用

一瞬で消える音楽を形にする一つとして、思考ツールの「くらげチャート」を活用する。くらげの頭の部分には「感じ取ったこと」、足の部分には「聴き取ったこと」を記入する。無意識だった思考を整理して、他者と共有するために有効だと考える。それまでの活動の中で出てきた「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」に関わる児童のつぶやきを掲示物としてまとめる。それは自分の言葉で書けない児童への助けとなるとともに、音楽の語彙の蓄積となるだろう。また、「感じ取ったこと」と「聴き取ったこと」を片方だけ書いた児童には、「音楽のどの部分からそう思ったの」「あなたはどう感じたの」など教師の問いかけで、2つを関わらせて書けるようにする。2曲のうちのどちらかを選ぶことで、自分なりに選んだ理由を表出させ、全員が「感じ取ったこと」と「聴き取ったこと」を関わらせて1つでも記述できるようにする。

### 3 題材の目標

- 拍子やリズム、旋律と曲想との関わりに気付き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。（知識及び技能）
- 拍子の違い、リズムや旋律の特徴が生み出すよさや面白さから、リズムにのった表現について思いをもったり、曲全体を味わって聴いたりする。（思考力、判断力、表現力等）
- 拍子の違いに興味・関心をもち、友達と交流しながら体を動かして歌ったり音楽を聴いたりする活動に楽しんで取り組む。（学びに向かう力、人間性等）

### 4 評価規準 ※評価略記号 知識・技能 知 技 知技

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①知技歌詞の表す様子、拍のまとまりやリズムと曲想との関わりに気付き、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技音色に気を付けて、音を合わせてリズムを打つ技能を身に付けて演奏している。 ③知2拍子、3拍子の拍のまとまりの特徴やリズム、旋律などと曲想との関わりに気付いている。	①拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、拍にのった歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ②拍のまとまりやリズムを聴き取り、拍子の違いが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、3拍子を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ③2拍子と3拍子の違いや旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、体を動かすなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	①拍のまとまりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ②2拍子と3拍子の違いに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。

### 5 題材の指導計画及び評価計画（6時間扱い）（本時6/6）

次	時配	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素（音符、休符、記号や用語）〕	○教師の働きかけ ・目指す児童（生徒）の姿 【視点】	評価規準（評価方法）		
				知技	思	態
		◎2拍子と3拍子を感じ取りながら、「はしの上で」と「たぬきのたいこ」を歌ったり、手遊びしたりする。				①（観察・発言・聴取） ↓
第一次	第1時	○「はしの上で」の曲の感じをつかんで歌う。 ○2拍子の拍のまとまりを感じる。 ・曲に合わせて拍打ちや手遊びをする。 ☆〔リズム、拍〕	○拍に合わせて体を揺らすなど、曲想を感じ取って聴くようにする。 ○音楽の流れと拍のまとまり合う感覚をつかむようにする。 ・拍のまとまりに興味をもち友達と交流しながら拍を打ったり手遊びをして歌ったりする学習に楽しんで取り組んでいる。			

	第2時	○「はしの上で」の歌詞の情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして、工夫して歌う。 ・拍にのってどのように歌うかを考える。 ○2拍子を感じ取りながら、手遊びを考える。 ☆〔リズム、拍〕	○工夫の例をいくつか示す。 ○固定の動画で活動を振り返らせる。 ・拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取っている。 【視点2①】 【視点3】	① 知 技 (観察・発言・聴取)	① (記述・発言・聴取)	↓
	第3時	○「たぬきのたいこ」の曲の感じをつかんで歌う。 ○3拍子の拍のまとまりを感じる。 ・曲に合わせて拍打ちや手遊びをする。 ☆〔リズム、拍〕。	○範唱を聴いて、3拍子の拍のまとまりを確かめさせる。 ・3拍子の拍のまとまりを感じ取って歌ったり手遊びしたりしている。 【視点2①】	② 技 (聴取・記述・発言)	↓	
	第4時	○「たぬきのたいこ」の歌詞の情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして、工夫して歌う。 ○3拍子を感じ取りながら、手遊びを考える。 ・2人組で拍や曲に合った手遊びを考える。 ☆〔リズム、拍〕	○工夫の例をいくつか示す。 ○固定動画で活動を振り返らせる。 ・拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、拍にのった手遊びをしている。 【視点2①】 【視点3】	↓	② (観察・発言・聴取)	↓
		◎「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を聴き、2拍子と3拍子の違いを感じ取る。				② (観察・発言・記述)
第二次	第5時	○「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を拍のまとまりの違いを感じ取って聴く。 ・気付いたことをもとに、「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」のそれぞれの拍子を確認し、拍打ちをしながら最後まで聴く。 ☆〔旋律・リズム・拍〕	○これまでの学習を振り返り、拍のまとまりに着目するようにする。 ○拍の打ち方を工夫したり、拍子の数をつぶやいたりしながら聴くようにする。 ・2拍子、3拍子の拍のまとまりの特徴やリズム、旋律などと曲想との関わりに気付いている。 【視点1①】	③ 知 (観察・発言)		↓
	第6時 (本時)	○「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を、体を動かしながら交互に聴く。 ○曲を聴いたり体を動かしたりして気付いた拍子やリズム、旋律と曲想の関わりについて伝え合う。 ○伝え合ったことをもとに「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を、体を動かしながらもう一度鑑賞する。 ・気に入った方を選び、聴き取ったことと感じ取ったことをくらげチャートに記入する。	○音楽に合った動きをしている児童を紹介し、なぜその動きをしたのかを問い返す。 ○児童の1つの発言に対して「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」の2つを関わらせる。 ・2拍子と3拍子の違いやリズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かすなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わっている。 【視点1②】 【視点2】 【視点3】		③ (記述・発言・観察)	↓

## 6 本時の指導 (6/6)

### (1) 本時の目標

2拍子と3拍子の違いやリズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かすなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わう。

(2) 本時の展開

<p>学習内容・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素 (音符、休符、記号や用語)〕</p>	<p>○教師の働きかけ・目指す児童(生徒)の姿 ◇評価規準(評価方法) 【視点】</p>
<p>1 前時までの活動を振り返る。 ・今までに学習した2拍子、3拍子の曲に合わせて拍打ちをしたり体を動かしたりする。</p> <p>2 本時の目標を知る。</p>	<p>○拍には合っているが、拍のまとまりを感じ取ることができない悪い例を教師が示し、拍が合っているだけでは拍子を感じ取っていないことを確認する。</p>
<p>2つのきょくのそれぞれのいいところを見つけよう。</p>	
<p>3 「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を体を動かしながら交互に聴く。 ・足踏みをしたり、拍打ちをしたり、指揮をしたり、手を動かしたり、跳ねたりと自由な動きをする。 ・自分なりに考えて、動きを工夫する。 ・どう動いたらいいかわからない時は、友達や先生の真似から始める。</p>	<p>○体を動かす際は、音楽をよく聴きながら動くように声掛けをする。 ○「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」で動きを変えていた児童を称賛し、理由を聞く。 ○音楽に合った動きをしている児童を紹介する。その児童になぜその動きをしたのか問い返す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どう動いたらよいかわからない児童には、前時までの学習を想起させたり、動きを取り上げた児童の真似をしてみたりするよう促す。</p> </div> <p>・拍のまとまりを感じて体を動かしている。</p>
<p>4 曲を聴いたり体を動かしたりして気付いた拍子やリズム、旋律と曲想の関わりについて伝え合う。 ・「ミッキーマウスマーチ」は元気な感じがしたよ。だから手を振って歩いたんだ。2拍子の「1・2・1・2」っていう拍だからかな。 ・「メヌエット」はやさしい感じがしたよ。だから体がゆれちゃったんだ。3拍子だからかな。</p>	<p>【視点2①】 ○動画撮影していた映像を全員で振り返る。 ○児童の1つの発言に対して「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」の2つを関わらせる。また発言した児童の動きを全員で真似して共有する場面をつくり体感させる。 ・2拍子3拍子の違いやリズム、旋律を聴き取っている。</p>
<p>5 伝え合ったことをもとに「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」を体を動かしながら、もう一度鑑賞する。 ・「ミッキーマウスマーチ」グループと「メヌエット」グループに分かれ、動きを見合う。 ・いいなと思った友達と、その理由を発表する。 ・最後にそれぞれの曲に合わせて全員で体を動かしながら、お気に入りを決める。</p>	<p>【視点1②】 ○伝え合ったことで、動きが変容した児童を見つけ、称賛する。 ○友達のいいところは、曲想や聴き取ったこととどのように繋がっているかまで発言するように、問い返していく。 ・2曲を聴き比べ、自分なりに曲や演奏の楽しさを見出している。</p>
<p>6 学習を振り返る。 ・どちらか1曲選お気に入りを選び、くらげチャートに記入する。 ・くらげチャートに記入した内容を振り返りながら「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」に合わせて体を動かす。</p>	<p>○言葉に表すことが難しい児童には掲示物やお助けカードを参考にしよう声掛けをする。</p>
<p>☆〔リズム、旋律、拍〕</p>	<p>【視点3】 ◇2拍子と3拍子の違いやリズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かすなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わっている。  (思考・判断・表現) 〈行動観察・発言・ワークシート〉</p>